



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 岩崎 雅信
問合せ先責任者（役職名） 管理部部長（氏名） 蜂須賀 伸子（TEL） 06-6120-2001
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	4,474	3.7	194	29.1	254	26.7	175	△6.2
2025年3月期中間期	4,313	7.1	151	33.6	200	37.6	187	△14.8
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期中間期	36.24		—					
2025年3月期中間期	34.40		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		％	
2026年3月期中間期	5,717		3,697		64.7	
2025年3月期	5,431		3,467		63.9	

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 3,697百万円 2025年3月期 3,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	8,800	1.5	260	6.7	350	7.9	280	3.9	57.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記(3) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	6,228,039株	2025年3月期	6,228,039株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,378,097株	2025年3月期	1,377,853株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	4,850,088株	2025年3月期中間期	5,446,740株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続いており、堅調な企業収益等を背景に引き続き緩やかな回復が続きました。一方で世界経済はウクライナ情勢の長期化、円安による原材料やエネルギー価格の高騰、米国の通商政策等による日本経済への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

当社におきましては新規顧客の獲得と既存顧客とのお取引深耕に取り組み、国際一貫輸送のさらなる受注獲得を目指して営業活動を展開してまいりました。円安の影響下にありながら輸入貨物の堅調な受注もあり、営業収入は増収、営業利益についても増益となりました。

この結果、当中間会計期間における営業収入は4,474,653千円で、前年同中間期と比べ161,377千円(3.7%)の増収となりました。営業利益は194,962千円で、前年同中間期と比べ43,941千円(29.1%)の増益、経常利益は254,315千円で、前年同中間期と比べ53,570千円(26.7%)の増益となりました。また、中間純利益は175,788千円となり、前年同中間期と比べ11,569千円(6.2%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、当社主要取引先の受注が堅調に推移したため、前年同中間期比において増収増益となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は4,382,023千円で、前年同中間期と比べ166,119千円(3.9%)の増収となり、全セグメントの97.9%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は361,064千円で、前年同中間期と比べ43,835千円(13.8%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は90,324千円で、前年同中間期と比べ5,075千円(5.3%)の減収となり、全セグメントの2.0%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は3,105千円、(前年同中間期は2,684千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同中間期とほぼ同水準となりました。

この結果、営業収入は2,306千円で、前年同中間期と比べ333千円(16.9%)の増収となり、全セグメントの0.1%を占めております。セグメント利益(営業利益)は2,291千円で、前年同中間期と比べ333千円(17.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末より115,176千円増加して2,853,188千円となりました。これは立替金の増加78,797千円、営業未収入金の増加37,666千円、受取手形の減少236千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より171,213千円増加して2,864,346千円となりました。これは工具、器具及び備品の増加4,490千円、投資有価証券の増加182,609千円、ソフトウェア仮勘定の減少6,000千円、建物の減少3,036千円等によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より81,883千円増加して1,303,843千円となりました。これは営業未払金の増加66,830千円、未払法人税等の増加9,535千円、1年内返済予定の長期借入金の減少12,541千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より25,051千円減少して716,294千円となりました。これは長期借入金の減少82,876千円、その他固定負債の増加等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より229,558千円増加して3,697,396千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加106,431千円、その他有価証券評価差額金の増加116,927千円の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比△14,945千円であり、1,302,202千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、180,690千円(前年同中間期は129,226千円)でありました。これは、税引前中間純利益計上257,354千円、仕入債務の増減額66,830千円、立替金の増減額△78,797千円、法人税等の支払額△72,552千円等が主な要因となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△35,047千円(前年同中間期は△93,225千円)でありました。これは、有形固定資産の売却による収入3,039千円、投資有価証券の取得による支出△11,987千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△160,589千円(前年同中間期は△284,192千円)でありました。これは、長期借入れによる収入50,000千円、長期借入金の返済による支出△145,417千円、配当金の支払額による支出△62,489千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、不確定要因が大きく、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関しての修正が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

また、配当予想の修正に関する詳細につきましては、2025年11月13日に公表いたしました「配当予想の修正(増配及び設立80周年記念配当)」に関するお知らせをご覧ください。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,317,148	1,302,202
受取手形	236	—
営業未収入金	773,225	810,892
立替金	604,348	683,146
その他	50,533	65,126
貸倒引当金	△7,482	△8,180
流動資産合計	2,738,011	2,853,188
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	70,795	67,758
構築物(純額)	1,536	1,462
機械及び装置(純額)	25,170	22,641
車両運搬具(純額)	17,388	18,482
工具、器具及び備品(純額)	1,694	6,185
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	10,008	7,684
有形固定資産合計	702,776	700,398
無形固定資産		
ソフトウェア	90,840	88,003
ソフトウェア仮勘定	8,000	2,000
のれん	55,862	41,896
その他	4,188	4,188
無形固定資産合計	158,890	136,087
投資その他の資産		
投資有価証券	1,668,889	1,851,498
差入保証金	75,513	86,123
その他	223,135	224,135
貸倒引当金	△136,070	△133,897
投資その他の資産合計	1,831,466	2,027,859
固定資産合計	2,693,133	2,864,346
資産合計	5,431,145	5,717,534

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	704,316	771,146
1年内返済予定の長期借入金	266,265	253,724
未払金	46,248	50,589
未払法人税等	79,797	89,333
賞与引当金	48,533	50,613
その他	76,799	88,436
流動負債合計	1,221,960	1,303,843
固定負債		
長期借入金	383,675	300,799
退職給付引当金	208,789	215,088
その他	148,882	200,407
固定負債合計	741,346	716,294
負債合計	1,963,306	2,020,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	35,178	41,483
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,233,834	1,340,265
利益剰余金合計	1,269,013	1,381,749
自己株式	△612,533	△612,638
株主資本合計	3,103,352	3,215,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	364,485	481,413
評価・換算差額等合計	364,485	481,413
純資産合計	3,467,838	3,697,396
負債純資産合計	5,431,145	5,717,534

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収入	4,313,276	4,474,653
営業原価	3,982,808	4,094,226
営業総利益	330,467	380,426
販売費及び一般管理費	179,446	185,464
営業利益	151,021	194,962
営業外収益		
受取利息	25	580
受取配当金	30,323	39,220
受取家賃	13,410	13,380
雑収入	15,111	15,921
営業外収益合計	58,869	69,103
営業外費用		
支払利息	3,014	3,296
為替差損	411	603
賃貸費用	5,718	5,750
雑損失	—	100
営業外費用合計	9,145	9,749
経常利益	200,745	254,315
特別利益		
固定資産売却益	1,272	3,039
投資有価証券売却益	76,206	—
特別利益合計	77,479	3,039
税引前中間純利益	278,224	257,354
法人税、住民税及び事業税	90,867	81,566
法人税等合計	90,867	81,566
中間純利益	187,357	175,788

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	278,224	257,354
減価償却費	17,036	24,275
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,396	△1,474
賞与引当金の増減額(△は減少)	53	2,080
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,461	6,299
受取利息及び受取配当金	△30,348	△39,801
支払利息	3,014	3,296
為替差損益(△は益)	5	△4
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,272	△3,039
投資有価証券売却損益(△は益)	△76,206	—
売上債権の増減額(△は増加)	△35,398	△37,430
仕入債務の増減額(△は減少)	75,035	66,830
立替金の増減額(△は増加)	△73,468	△78,797
その他の資産の増減額(△は増加)	△17,851	△14,593
その他の負債の増減額(△は減少)	22,315	17,777
小計	175,170	216,738
利息及び配当金の受取額	30,348	39,801
利息の支払額	△3,014	△3,296
法人税等の支払額	△73,276	△72,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	129,226	180,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△730	△6,224
有形固定資産の売却による収入	1,272	3,039
無形固定資産の取得による支出	△69,700	△8,000
投資有価証券の売却による収入	246,059	—
投資有価証券の取得による支出	△270,126	△11,987
その他の支出	—	△11,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,225	△35,047
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△199,679	△145,417
自己株式の取得による支出	△121,660	△105
配当金の支払額	△60,303	△62,489
リース債務の返済による支出	△2,550	△2,577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,192	△160,589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△248,191	△14,945
現金及び現金同等物の期首残高	1,779,495	1,317,148
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,531,304	1,302,202

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,215,903	95,400	4,311,304	1,972	4,313,276	—	4,313,276
外部顧客への売上高	4,215,903	95,400	4,311,304	1,972	4,313,276	—	4,313,276
セグメント間の内部売上高 又は振替高	665,874	244,880	910,755	—	910,755	△910,755	—
計	4,881,778	340,280	5,222,059	1,972	5,224,031	△910,755	4,313,276
セグメント利益又は損失 (△)	317,229	△2,684	314,544	1,957	316,502	△165,481	151,021

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は、△165,481千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間損益 計算書計上額 (注) 3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,382,023	90,324	4,472,347	2,306	4,474,653	—	4,474,653
外部顧客への売上高	4,382,023	90,324	4,472,347	2,306	4,474,653	—	4,474,653
セグメント間の内部売上高 又は振替高	682,069	260,224	942,294	—	942,294	△942,294	—
計	5,064,092	350,548	5,414,641	2,306	5,416,947	△942,294	4,474,653
セグメント利益	361,064	3,105	364,170	2,291	366,461	△171,499	194,962

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は、△171,499千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。